

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度 野外体験教室運営協議会		
事務局 (担当課)		相模川自然の村野外体験教室 電話042-760-5445 (直通)		
開催日時		令和6年10月29日(火) 14時00分～16時00分		
開催場所		相模川自然の村野外体験教室 研究室		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)		
	その他	無		
	事務局	5人(学校教育部長兼相模川自然の村野外体験教室所長事務取扱、ふるさと自然体験教室所長、外3人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議題		1 開会 2 報告 (1) 令和5年度利用状況について ア 若あゆ、やませみの利用状況について イ 主催事業について 3 議題 (1) 令和7年度に向けて ア 学校利用等について イ 青少年団体利用について ウ 主催事業について 4 その他 5 閉会		

# 議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

## 1 開会

## 2 報告

- (1) 令和5年度利用状況について  
(事務局より資料に基づき報告)

## 3 議題

- (1) 令和7年度に向けて  
ア 学校利用等について  
イ 青少年団体利用について  
ウ 主催事業について

事務局より、資料に基づき説明を行った後、福井会長の進行のもと質疑応答・意見交換を行った。

(笹野委員) キャリア教育とはどのようなものか。

(事務局) 社会的・職業的に自立できるように、課題解決能力、コミュニケーション能力などをつけていこうとする教育である。若あゆ・やませみでもそれぞれの学校の重点に応じてアドバイスを行うなどの取り組みを行っている。(清田所長)

(笹野委員) 市内の児童生徒数の変化はどのようになっているか。

(事務局) 地域によって増減はあるが、市内全体では減少傾向である。(清田所長)

(笹野委員) 教員志望者がさつまいもの植え付けを行ったがどのような経緯でおこなったのか。また評判はどうであったか。

(事務局) 体験を通して相模原教育の良さを知っていただくために行ったもので、アンケート結果でも大変好評であった。(都丸指導主事)

(松石委員) 中学校の一部が若あゆ・やませみを利用していない理由はなにか。

(事務局) 学校の教育課程と合わないところがあることや、大規模校は大人数での利用にハードルがある。学校が利用しやすいように、SDGsの学習と若あゆ・やませみの宿泊を併せて実施するなどの試みを行っている。(清田所長)

(佐藤委員) 皆で一緒に夜空を見られる体験は、若あゆでの宿泊ならではの体験であり、宇宙に興味関心がもてるととても良い体験である。

(福井会長) 中学校は小学校と同じ体験をするのでは来ない。周囲の自然や立地条件を考えると、防災をテーマとした教育活動の実施にあたっては、若あゆは適していると思う。また、授業日数を圧迫しないよう、教科の時間を使って宿泊に来られるような工夫を考えられないか。

(笹野委員) 若あゆ・やませみを利用していない学校数は減少しており、良いのではないかと。

(福井会長) 確かに利用していない学校数は減少しており、職員の皆さんが頑張っているということだと思います。

(大貫委員) 大島キャンプ場が若あゆの近くにあり、キャンプ場と若あゆがコラボできると良いと考えている。キャンプ場利用者が銀河ドームで天体観望ができると良いと思う。

(事務局) 条件を整えばできると思う。飲酒の関係など整理は必要になる。(清田所長)

(事務局) 昨年度から銀河ドームの一般開放日を設けている。そうした日を案内して利用いただくことなどはできると思う。(都丸指導主事)

(福井会長) 銀河ドームの稼働の状況はどうか。

(事務局) キャンプファイヤーを組む学校が多く、天体観望はそれほど多くはなっていない。(都丸指導主事)

(福井会長) 銀河ドームの稼働を増やすと職員に相当な負担がかかってしまう。最初は研修が必要だが地域の方に行っていただくような仕組みができれば稼働回数を増やせると思う。

(福井会長) 高校の天文部などは学校の屋上で天体観測を行うなどしており、高校のサークルなどが夜間に利用できるようにすると稼働を増やせると思う。

(福田委員) 子ども会はコロナで活動ができなかった影響もあり23地区あったところが10地区まで減少してしまった。青少年学習センターとの調整が必要だが地区子連ごとの利用ではなく単位こども会で利用できるようになれば利用が増えると思う。

(事務局) 利用の単位については、青少年学習センターとの整理ができれば、施設側としては検討できると思う。(高橋総括副主幹)

(松石委員) 長寿命化は設備の話か。活動内容の見直しも含まれるのか。

(事務局) 施設の建物や設備の話である。(高橋総括副主幹)

(福田委員) ふれあいホールに空調が入ってその後はどうか。

(事務局) 非常に好評である。(高橋総括副主幹)

(福井会長) 学校現場でICT化が進んでいるが、若あゆ・やませみは電波状況が良くないと聞いている。委員の皆様の賛同がいただければ、Wi-Fi環境の整備、電波状況の改善を要望したい。

(各委員) 多くの委員が賛同の意でうなづく。

(事務局) 事務局としてもWi-Fi環境を整備していきたいと考えているが、委員の皆様からも後押しをいただけたということで進めていきたい。

(笹野委員) ここでICTが必要かという議論もあったと思うが。

(小林委員) 中学校でもまとめや振り返りで日常的にクロームブックを利用しており、体験は体験として大切にしつつ、体験を通して学んだことを振り返るためのアイテムを利用できる環境は必要である。

(小林委員) 中学校が若あゆ・やませみを利用しないことについて、小学校と同じこと

をするのがどうかということがあると思う。また、時期を選べないという点はネックだと思う。総合的な学習とのコラボは良い工夫であり、活動の多様化が進められると中学校にも受け入れられやすくなると思う。土日については部活動の地域移行化などで中学生も忙しい状況がある。

(門倉委員) W i - F i 環境が整備されていれば、I C Tを利用する選択ができる。選択できるように環境を整えることに賛成である。

(佐藤委員) 小学校と中学校で同じ事をしていると言われることがあるが、活動協力者としては、小学生や中学生それぞれの実態に応じて、より深く学べるようにするために、伝える情報を精選したり、活動そのものの難易度を変えたりする等の工夫を行っている。子どもは喜んで体験活動をしている。

#### 4 その他

特になし

#### 5 閉会

以 上

## 野外体験教室運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	福井 智紀	麻布大学	会長	出席
2	門倉 恭子	千木良小学校		出席
3	小林 知昭	共和中学校		出席
4	福田 豊	相模原市子ども会育成連絡協議会		出席
5	藤井 朱起	ボーイスカウト相模原第5団		欠席
6	佐藤 輝美	活動協力者		出席
7	松石 藤夫	活動協力者	副会長	出席
8	大貫 君夫	大島観光協会		出席
9	笹野 茂	下大島地区ふれあい農業組合		出席